

## 日本行動分析学会とは

人は、なぜそのように行動するのか、あるいはまた、なぜ行動しないのか。

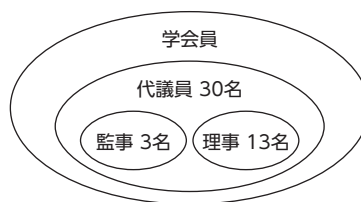
日本行動分析学会は、B.F.スキナーに始まる実験的行動分析、応用行動分析、理論行動分析の研究を推進しさらにそれを職業的・社会的実践に適用しようとする人たちの集まりです。

学会の目的は、様々な事業を通して、行動分析学に関わる研究、教育、実践活動を促進し、会員が関心を持つ問題についての情報や討論の場を提供することです。

領域は多岐にわたりますが、基礎と応用といった垣根を持たずに、両者が、社会的に重要な諸問題の理解や解決にむけて、必要な環境設定を実証的に分析し、その実現のために行動することをモットーとしています。



## 日本行動分析学会の組織



総務委員会（事務局、ホームページ）

法務委員会（定款、倫理）

財務委員会（予算、助成）

渉外委員会（ニューズレター、国際）

企画委員会（論文賞・実践賞・年次大会）

編集委員会（機関誌編集、事典・用語編纂）

日本行動分析学会 事務局

〒540-0021

大阪市中央区大手通2-4-1 リファレンス内

日本行動分析学会事務局 宛

E-mail: [j-aba.office@j-aba.jp](mailto:j-aba.office@j-aba.jp)

日本行動分析学会ホームページ

<https://j-aba.jp/>



一般社団法人 日本行動分析学会 入会のご案内



実験科学的な知見に基づき

# 行動の予測と 制御を目指す



The Japanese Association for Behavior Analysis

一般社団法人 日本行動分析学会

## 入会について

入会資格は特にありません。どなたでも会員になれます。

会員の特典には、以下のものがあります。

- ▶年2回発行の機関誌「行動分析学研究」や年次大会のプログラム、その他本会の発行する資料の配布を受ける
- ▶年次大会および機関誌への参加・発表資格を有する
- ▶非会員よりも安い会員価格で、機関誌の購入や年次大会の参加・発表ができる

※入会年度は、毎年4月1日より新年度になりますのでご注意ください。

会費	正会員	7,000円
	正会員 <sup>(1)</sup>	4,000円
	賛助会員 <sup>(2)</sup>	

(1)学部学生、大学院生であって、学生であることを証明する所定の手続きを経た者、並びに、正会員の配偶者であって、機関誌の配布を辞退する者。

(2)当学会の活動を経済的にご支援くださる場合とします。ご相談ください。

※年度途中の入会の場合も上記の会費となります。

※機関誌「行動分析学研究」のみを購読する機関は、年会費を8,000円とします。

## 入会申し込み

入会申し込みフォームからお申込み下さい。入力フォームをご利用されない方は、入会申込書をダウンロードし必要事項をご記入の上、メール添付もしくは郵便にて事務局までお送りください。

折り返し、年会費の振り込み用紙をお送りします。



入会申し込みフォーム

<https://www.j-aba.jp/application.html>

## 沿革と事業

本学会は、「行動分析研究会」として1979年にスタートし、1983年には学会として第1回年次大会を開催しました。1987年に日本学術会議に学術研究団体として登録され、さらに2015年には一般社団法人となり、今日に至っています。

主な事業としては、年次大会および公開講座の開催、年2回の機関誌「行動分析学研究」の発行、会報「J-ABAニュース」の発行、インターネット上のホームページ公開、および不定期の出版物の公刊などがあげられます。

また米国に本部を置く国際行動分析学会に加盟し、その一支部として国際的な情報交流や事業展開を積極的に行っていることも本学会の特徴です。

## カバーする領域

行動分析学で扱われるテーマは非常に幅広く、行動諸科学や倫理的問題に関する基礎研究のほか、医療、教育、産業、福祉、障害を有する個人への諸サービス、さらには行政などにもその対象領域が広がっています。

# THE JAPANESE ASSOCIATION FOR BEHAVIOR ANALYSIS

## 日本行動分析学会の諸活動

### 年次大会

1年に1回年次大会を開催しています。

近年開催会場:立命館大学、愛知大学、同志社大学、福島大学、大阪市立大学、明星大学、弘前大学、岐阜大学 ほか

### 学会機関誌「行動分析学研究」

会員の投稿論文を中心に編集された機関誌が年に2回、発行されています。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjba/-char/ja>



### 出版物

- ・ケースで学ぶ行動分析学による問題解決(金剛出版)
- ・行動分析家の倫理一責任ある実践へのガイドライン(二瓶社)
- ・初めての行動分析学実験: Visual Basicでまなぶ実験プログラミング(ナカニシヤ出版)
- ・行動分析学研究アンソロジー2010(星和書店)
- ・行動分析学事典(丸善出版)
- ・Rではじめるシングルケースデザイン(ratik)
- ・新装版ことばと行動: 言語の基礎から臨床まで(金剛出版)

**学会賞・若手研究者優秀発表賞・学生研究者大会発表助成制度**  
学会では論文賞と実践賞という2つの学会賞を設け、行動分析学への貢献を表彰しています。さらに、若手会員の研究を奨励するため、若手研究者優秀発表賞を設けるとともに、学生研究者大会発表助成制度を実施しています。

### 研究会・自主公開講座等助成事業

行動分析学に関する研究会や行動分析学の普及や啓発、あるいは行動分析学を取り入れた実践活動の紹介等を目的として開催される「自主公開講座」を支援する事業を行っています。また、次世代を担う学生会員の国際的な情報交流活動を推進するために、ABAI/SQAB等への参加助成を行っています。

### 声明・ガイドライン

2014年『「体罰」に反対する声明』を発表  
2023年「強度行動障害に関する支援ガイドライン」を公開

### 資料館

学会ホームページには「動画で学ぶ行動分析学」「行動分析学歴史資料館」「学校支援関連アーカイブ」「強度行動障害特別アーカイブ」等、貴重な動画や資料が公開されています。